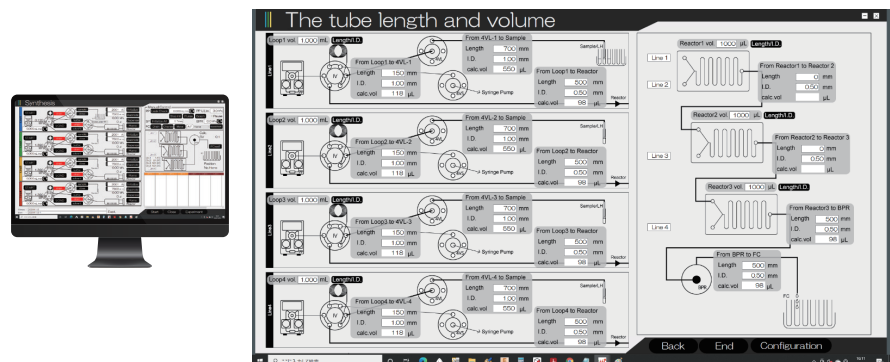


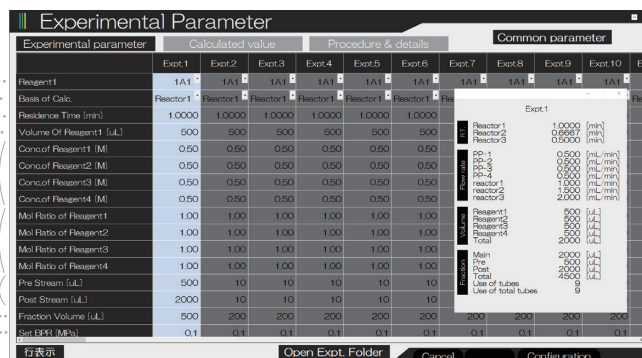
ソフトウェア（後半：合成条件の詳細パラメータ入力）

■ バッチ合成の合成条件を参考に、試薬濃度、量、反応時間等の反応条件を入力



5. Componential parameter

リアクタ容量、Loop 容量、配管長を入力します。



6. Experimental parameter

詳細な実験値を入力します。

■ コレクションは、Easy/Advanced modeから選択可能。創薬研究～プロセス検討まで幅広いニーズに対応。

■ ターゲット生成物が合成完了。少量多検体な合成に最適です。

ドラフト内に設置可能なコンパクトサイズ。



構成例 / 販売価格・スペック

	3Line Sys C / Sys B / Sys B	2Line Sys B / SysB	2Line Sys A / SysA
ブランチポンプ (PP)	3	2	2
インジェクションバルブ (IV)	3	2	2
自動背圧弁 (ABPR)	1	1	1
フラクションコレクタ (FC)	1	1	1
シリッジポンプ (SP)	2	1	-
1-4 方バルブ - シリッジポンプ側 (4VS)	3	2	-
1-4 方バルブ - サンプル側 (4VL)	3	2	-
リキッドハンドラ (LH)	1	-	-
制御 BOX	2	1	1
自動合成ソフト	1	1	1
装置サイズ	W1300×D600×H680mm	W650×D600×H680mm	W650×D600×H340mm
価格	1090 万円～	630 万円～	390 万円～

リアクタは別売り。

	仕様	備考
PP 流速設定範囲	0.01 ～ 9.999ml/min	反応時間から算出
試薬最小使用量	200 μ L ～	
シリッジ - Loop 容量	2.5ml-1ml、12.5ml-5ml	
ABPR 設定範囲	0.1 ～ 1.5MPa	
LH	24well (標準)	特注ラック対応可
FC	試験管 72 本 (標準)	特注ラック対応可

少量多検体・ハイスループット 医薬品のシード探索に最適

OptimFlow

optimized for your synthesis



→ 自動合成装置が求められる背景

製薬メーカー

新薬の開発費用が年々膨大化し(主に人件費)、自動化が求められている

既存の自動合成装置

✕ 高価 ✕ 複雑で使い難い ✕ 海外メーカー製

製薬メーカー4社、
ナード研究所との共同開発!

既存の自動合成装置の課題をクリア

OptimFlow



装置構成

最大で4ライン構成とする。
(4流路-3リアクタの3段反応である)

サンプリングラインのシステム

Sys A: マニュアルサンプリング
(手動でLoopに試薬導入。
IVにより計量)

Sys B: SPIによるオートサンプリング
(4VS/4VLにて流路切替)

Sys C: LHにより多検体合成が可能。

→ 装置概要



計算一切不要で、
自動合成が可能です。

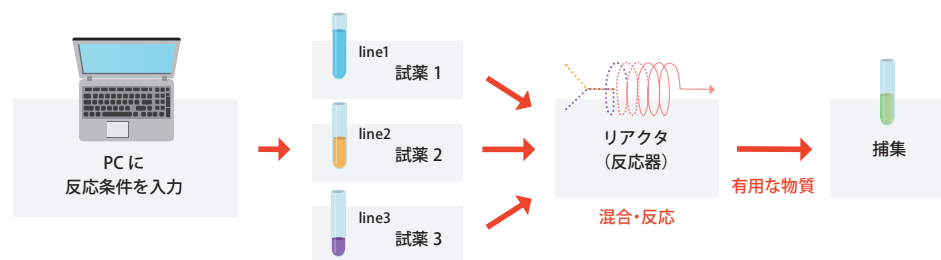


直感的な合成ソフトが
付属します。



最大4流路・3リアクタ
(3段反応)が可能です。

■ 試薬をセットし合成ソフトを開始すれば、必要な前処理・時間調整・洗浄等のすべてを自動で行います。



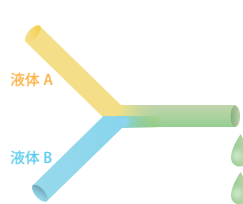
■ 試薬濃度、比率、反応時間などの条件を入力するだけで、そのままフロー合成に適用可能です。(計算は一切不要)

従来の有機合成反応手法



バッチ方式

✓ 次代の有機合成反応手法



フローケミストリー

すべての化学者の手にフローケミストリーを

目指したのは化学者に使いやすいソフトウェア。
計算、プロセス工学、プログラミングなどの知識は不要。

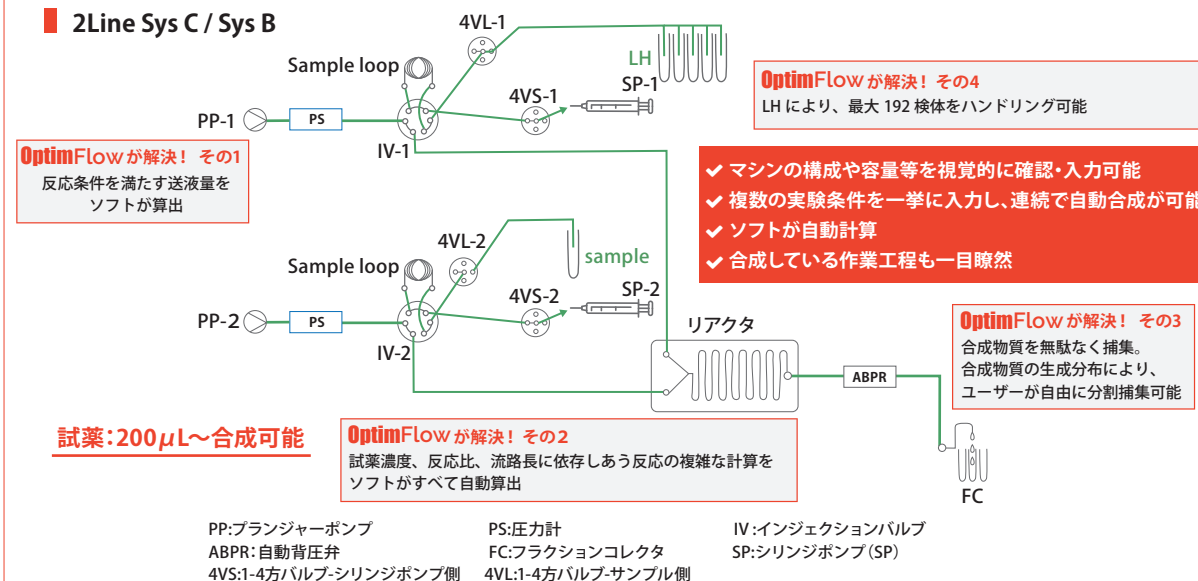


これまでのフローケミストリー装置の操作は、知識・ノウハウの塊で、
有機合成が専門の研究者には手が出しにくいものでした。

計算値に基づき、装置の制御を行う必要があるが非常に複雑。

本装置では、反応条件を入力さえすれば、ソフトが複雑な計算を全て行う。

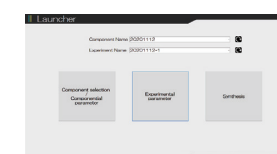
2Line Sys C / Sys B



試薬:200 μ L~合成可能

直感的なソフトウェア(前半:合成パターンの選択)

■ ナビゲーションに従ってフロー合成の種類を選択



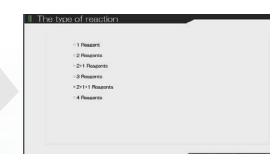
1. Launcher

- Componental Parameter 入力
- Experimental Parameter 入力
- Synthesis (自動合成) を選択



2. The system

各ラインの入替を行う。



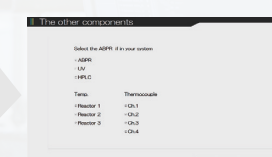
3. Componental parameter
The type of reaction

反応タイプ
(ライン数/リアクタ数を選択)



4. Componental parameter
The components

各ラインのシステム
(Sys A / Sys B / Sys C) を選択。



5. Componental parameter
The other components

ABPR等のコンポーネントの選択